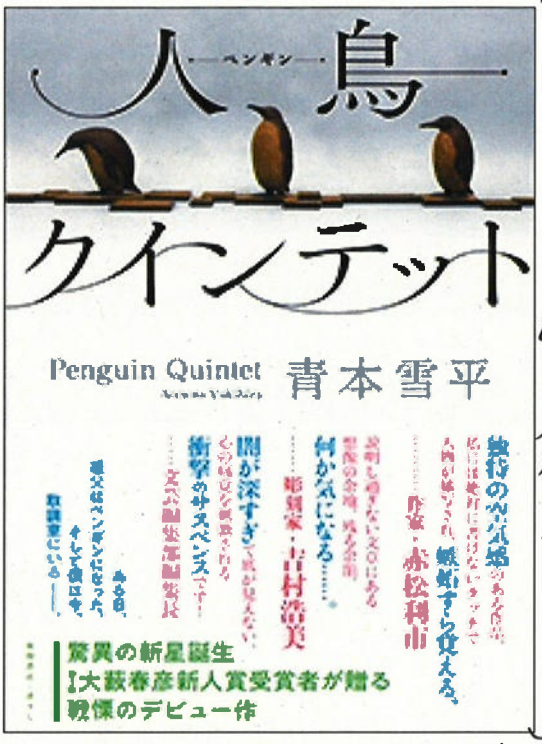
元祖 モリモリ書店

令和２年度　愛知教育大学附属岡崎中学校　読書だより

やっぱり、おもちのチロル チョコって、おいしいですね。

第48話　R02.10.16(金)
『想像をふくらませ、余韻にどっぷり浸かる。』

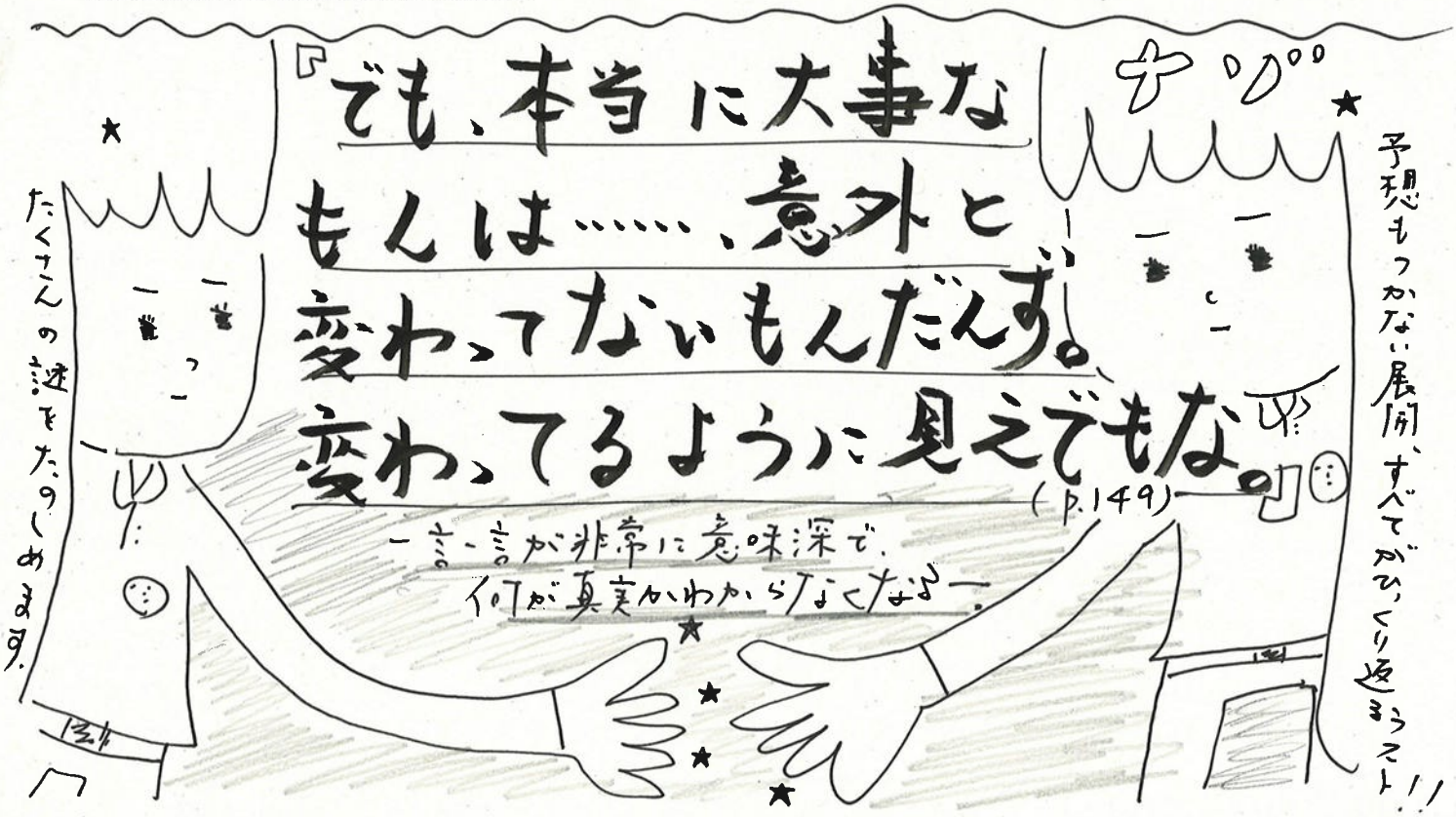
★今回、紹介する本は、『**人鳥（ペンギン）クインテット**』（著/**青本雪平**、出版/徳間書店）です。



ペンギンハイウェイとも、全然ちがいます！

ミステリーのような、純文学のような、人間ドラマのような、なんともジャンルに分けにくい、不思議な味わいをもった小説です。

まず、「**ある朝、目が覚めると、祖父がペンギンになっていた**」という主人公の回想から始まり、いきなり意表をつかれます。

主人公は、祖父以外身寄りのない青年。しかも、青年は、**ある殺人の容疑**で警察の取り調べ室にいるという設定。そこで、祖父がペンギンになった出来事から始まる奇妙な生活を語っていきます―。

ある小学生の少女との出会いや、近くのアパートの住人とのふれあいをとおしながら、**主人公の生活と内面をあぶりだしていくような独特な展開**がおもしろいです。あまり多くを語らないことで、**最後も、「え、どういうこと？」みたいになり、誰かと語り合いたくなるような小説**。想像をふくらませて、余韻も楽しめます。ぜひどうぞ。